

Q 学童保育は来年度から国の基準を撤廃し、教員数や資格等については自治体の裁量に任せられるという報道がされているが、町の考え方は。

A 学童保育については、川妻認定こども園おひさまと認定こども園五霞幼稚園・保育園に現在お願いしており、変更等はなく、これまでと同じような形でお願いをしたいと考えています。



Q 高齢者いきいき活動ポイント事業の内容とそのポイントの管理はどのように行うのか。

A 60歳以上の方が申請をしていただくとポイント手帳が交付され、町が指定する介護予防事業等に参加されるとポイントが貯まります。1回につき1ポイントがもらえ、30ポイント貯まると商品と交換できます。年度の上限は60ポイントと考えています。

Q 高齢者支援事業の中で前年度と比較すると294万5,000円予算が増えているが、その内容は。

A 養護老人ホームへ入所されている措置費ですが、現在、入所者数は7名で、広域運営

されている養護老人ホーム以外の措置費が増額したため、予算が増えたものです。

Q 茨城県観光協会負担金の8万円について、茨城県内の観光マップ作成等の費用に使われていると思いますが、その観光マップの中に五霞町の観光については、どのような形で紹介されているのか。

A 観光マップの中に1か所載せており、現在、五霞町では道の駅を載せています。

Q 今ある資源を生かしながら、観光客を呼び込める施策として、田植えや稲刈り等の農業体験という形で町をPRする企画が可能ではないかと思うが、町の考えは。

A 農業体験については、色々課題等もありますが、自治体や観光会社等で行っているグリーンツーリズム等も精査しながら、五霞町に合った中で、できるものと考えていければと思います。



Q 五霞町内にある企業の製品を役場庁舎内に展示して、五霞町に来て、この企業で働きたいと思ってもらえるような、PRはできないのか。

A そのようなPRを行っている市町村もありますので、参考にしていききたいと思いません。

Q 土地利用事業化検討業務委託として予算1,500万円を計上してあるが、この内容は。

A 新たな産業系土地利用の可能性を検討するため、地形や土地利用の状況等を調査し、候補地を選定していくための委託料となります。1か所に絞るのではなく、複数箇所を検討し、県等関係部門と協議をしながら進めていきたいと考えています。

Q 中学校の中規模修繕工事設計業務委託料の金額が3,852万7千円と、大変大きな金額ですが、この内容は。

A 設計委託料として、県内の小学校の中規模修繕の事例を参考として、国土交通省が示す積算基準に基づいて、積算をしています。今回の改修が4つの構造物及びその細部に渡ることから、総工事費2億5,685万円の約15%となったところです。

Q 国民健康保険の被保険者数は年々減少しているが、その要因は。

A 75歳到達による国民健康保険から後期高齢者医療保険への移行や社会保険加入要件が緩和されたことに伴う社会保険加入の増加が主な要因です。

Q 後期高齢者医療制度の対象者について、一定の障害のある方は65歳以上が対象となっておりますが、一定の障害の内容は。

A 身体障害者の1、2級の方又は3級の方で内部障害のある方が対象となっています。